



2021年度

観光地経営講座

講義録

観光地の“強さ”とは何か？

～経験価値に立脚する原点回帰の観光地経営～



2021年度
観光地経営講座 講義録

観光地の“強さ”とは何か？
～経験価値に立脚する原点回帰の観光地経営～

はじめに

当財団では、1997年度の「観光リゾート基礎講座」（2001年度に「観光基礎講座」と名称変更）を皮切りに、旅行・観光分野の人材育成事業に取り組んでまいりました。2003年度からは「観光実践講座」を追加し、さらに2014年には両講座を統合し、現在の「観光地経営講座」に至っております。

本講座は、これまでの講座の特徴を踏襲しつつも、半世紀にわたる当財団の調査・研究事業で培ってきた経験とノウハウを「観光地経営」という視点で整理し、観光地経営に関する基本的な考え方と実際の取り組み事例から得られる知見を体系的に学んでいただけるように構成しています。

さらに毎年、時季に合ったテーマを設定し、最前線で実践されている外部講師を招聘し、当財団の研究員が講師の方々の知見を引き出しながら受講者の皆様とも議論して、より理解を深めるスタイルで開催しています。

テキストには、当財団が旅行・観光分野の調査研究機関に改組して50周年の記念事業として発刊した『観光地経営の視点と実践』（2013年初版発行、2019年第2版発行、丸善出版）を使用しています。2019年4月には改訂版を発行し、観光地経営を実現させるためのポイント（視点）を、これまでの8つから、昨今の自然災害などへの対応を踏まえた「リスクマネジメント」の視点を加えて9つとしました。また、参考となる実践例10地域についても、新たに4地域を取り上げるとともに、初版から掲載している事例について改訂を行いました。

2021年度の「観光地経営講座」は、「観光地の“強さ”とは何か？ ～経験価値に立脚する原点回帰の観光地経営～」をテーマとしました。

2020年度に続き、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中ではありますが、今年はオンライン講義（7月9日）と軽井沢での現地研修（7月19日）を組み合わせた構成としました。

新型コロナウイルスの国際的な感染拡大によって、観光地、観光産業への打撃は長期化しています。一方で、コロナ禍においても来訪者や移住者が集まる地域も見受けられます。こうした地域は、地域ならではの核となる特徴や強みを活かした「経験価値」を形にしているとともに、顧客のみならず、ともに観光事業に取り組む関係者や地元住民との間に、強固な「信頼関係」が構築できていることがうかがえます。

本書は4つの講義と現地研修でのオリエンテーションをまとめた講義録です。先が見えない状況だからこそ必要な、長期的視点に基づいた地域のブランディングや、様々なリスクにもゆるがない観光地経営のヒントが散りばめられている一冊となっています。

受講していただきました皆様はもちろん、その他の地域におきましても、本講座および本書をきっかけに、具体的なアクションにつながれば幸いです。

2021年10月

公益財団法人日本交通公社
観光政策研究部長 山田 雄一

Contents

目次

2021年度 観光地経営講座 講義録

観光地の“強さ”とは何か？ ～経験価値に立脚する原点回帰の観光地経営～

はじめに	2
◆観光地の“強さ”とは何か ～コロナ禍で試される観光地マネジメント～ (講義1)	5
講師：公益財団法人日本交通公社 観光政策研究部長 山田 雄一	
◆改革は組織の内側と足元から ～自立的な組織経営に向けた 沖縄市観光物産振興協会の取り組み～ (講義2)	17
講師：一般社団法人KIX泉州ツーリズムビューロー 専務理事/ 前一般社団法人沖縄市観光物産振興協会 事務局長 山田 一誠 氏	
◆地域資源を大切に 百年先を見据え官民協働で取り組む 道後温泉の観光まちづくり (講義3)	27
講師：松山市産業経済部 道後温泉事務所 活性化担当課長 山下 勝義 氏	
◆“軽井沢ルール”によって作られた コロナ禍にもゆるがない軽井沢ブランドとは (講義4)	39
講師：一般社団法人軽井沢観光協会 事務局長 工藤 朝美 氏	
◆軽井沢での現地研修 軽井沢の観光まちづくり (オリエンテーション)	49
講師：一般社団法人軽井沢観光協会 事務局次長 新宅 弘恵 氏	
ポストコロナを見据えた 地域の経験価値を考える (グループディスカッション)	56
Back Number	60

■開催概要

2021年度 観光地経営講座

観光地の“強さ”とは何か？

～経験価値に立脚する原点回帰の観光地経営～

◎開催日時：2021年7月9日（金）9:30～15:30、7月19日（月）9:30～16:00

◎開催方法：7月9日（金）：Zoomウェビナーによるオンライン講義
7月19日（月）：軽井沢での現地研修

◎対象 象：観光による地域振興に携わる地方自治体のご担当者、観光関連事業者、観光協会やDMO、
商工会議所などの関係者など

◎主催 催：公益財団法人日本交通公社（JTBF）

◎プログラム

7月9日（金）：オンライン講義

講義1 観光地の“強さ”とは何か ～コロナ禍で試される観光地マネジメント～
（公益財団法人日本交通公社 観光政策研究部長 山田 雄一）

講義2 改革は組織の内側と足元から
～自立的な組織経営に向けた沖縄市観光物産振興協会の取り組み～
（一般社団法人KIX泉州ツーリズムビューロー 専務理事／
前一般社団法人沖縄市観光物産振興協会 事務局長 山田 一誠 氏）

講義3 地域資源を大切に 百年先を見据え官民協働で取り組む道後温泉の観光まちづくり
（松山市産業経済部 道後温泉事務所 活性化担当課長 山下 勝義 氏）

講義4 “軽井沢ルール”によって作られた コロナ禍にもゆるがない軽井沢ブランドとは
（一般社団法人軽井沢観光協会 事務局長 工藤 朝美 氏）

7月19日（月）：軽井沢での現地研修

オリエンテーション

軽井沢の観光まちづくり

（一般社団法人軽井沢観光協会 事務局次長 新宅 弘恵 氏）

フィールドワーク

グループディスカッション

ポストコロナを見据えた地域の経験価値を考える

■観光地経営講座テキスト『観光地経営の視点と実践』

昨今の市場環境の変化に対応し、既存の観光地が活性化していくためには、観光地全体をマネジメントしていく「観光地経営」という考え方が重要です。本書では、それを実現させるためのポイントを9つの視点から提言するとともに、全国10カ所の参考となる実践例を取り上げ、その学ぶべき点について丁寧に解説しています。

発行日 初版：2013年12月 仕様：B5判／230ページ 定価：本体2,800円＋税

第2版：2019年4月 仕様：B5判／268ページ 定価：本体3,000円＋税

発行 丸善出版

